

～天橋立を核とした魅力ある景観まちづくりに向けて～

6月29日に「第8回天橋立周辺景観まちづくり検討会」、7月4日にワークショップ「まちの色を見つけよう！」を開催します！是非ご参加下さい！（裏面お知らせ参照）

第6回検討会(3月2日)、第7回検討会(3月23日)開催結果

テーマは、天橋立周辺地域の眺望景観、移動景観を対象としたルールづくりや地域別の景観形成のモデル的取組みなどで、眺望景観、移動景観を対象としたルールづくりについては、天橋立にふさわしい景観を形成するための建築物や広告物などの具体的なルールの内容などについて意見交換を行いました。

また、検討内容が多岐にわたるため、第6回検討会と第7回検討会の間には、これらのテーマについての検討委員を対象としたヒアリング調査も実施しました。

今年度は、景観まちづくり計画（仮称）の取りまとめに向けて検討を進めていきます。



◆検討会で出された意見

【第6回検討会】

○景観形成のルールについて

- ・俯瞰景観の著名な視点場としてビューランド、傘松公園のほか大内峠一字観公園も大事である。
- ・俯瞰は日本の家屋の場合、壁ではなく屋根の形状と色が問題になる。多くの利用者があるビューランドから見る建築をどうするかを考えなければならない。
- ・建物の高さをすぐに変えることはできないが、色などすぐに対応できることは始めていきたい。
- ・文珠では、文殊堂より高いものは建てないほうが良い。
- ・宮津地区では相続の際に最近では駐車場になるケースが多く、街中で虫喰いのような形状になっている。塀で町並みのレベルを合わせるなどして景観の一体性を保っていくことを検討すべき。
- ・天橋立は和風なので、公共的な建物を含めて和風のデザインに統一するのが理想だと考える。
- ・天橋立の日の出や日没の風景、雲や霧といった素晴らしい自然の姿も利用すればいい。

○屋外広告物のルールについて

- ・ロードサイドの野立て看板は個人の財産なので扱いが難しいが、できれば小さくするのではなく撤去してしまうほうがいい。
- ・阿蘇海側の看板は撤去すべきだ。

○今後の景観づくりについて

- ・宮津には、文化的な足跡がある。文化的な価値を景観問題と同時に掘り下げていくことが大事だ。
- ・町並みや景観が大切だという考え方が、市民レベルで考えられる雰囲気になってきた感じはする。みんなで議論するなかで、本来のまちづくりと一緒に考えていければと期待している。

【第7回検討会】

○景観形成のルールについて

- ・重点地区の設定が文珠・府中地区のみになっているが、まず取り掛かりとしてはこの2地区として、住民意識の高揚を図り順次拡げていく方向ならそれでもいいと考える。
- ・景観価値を低下させてきたのは住む人間の意識の問題であるため、景観形成のための規制と住民の意識向上をともに考えていかなければ景観問題は空論になってしまう。
- ・人がゆっくり歩けるような道路空間とするために、通常のアスファルトと白線を周囲の景観に調和した色合いにしてみてもどうか。
- ・府中の護岸沿いにマツを植えたが、平成16年の台風で傷んでそのままになっている。マツは、景観的には良いがあとの手入れには課題が多い。

○各地区での取組みの方針

- ・岩滝地区は歴史としては天橋立にあまり依存していない文化があるが、天橋立とつながる景観は素晴らしいので、それを意識したまちづくりが求められる。
- ・阿蘇シーサイドパークの整備が進んでいるが、海側の湾岸道路との絡みも検討していかなければならない。
- ・各地区がまちづくりを考えていくのは大切だが、他地区との連動も大事。
- ・お互いに競い合い、磨きをかけていくことも大切。

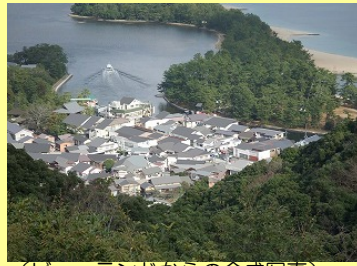
○屋外広告物のルールについて

- ・住民の屋外広告物や景観に対する意識は薄い。求めるイメージに近づけるには一定年数が必要で、地域のか、まちづくりとして捉えていく意識がどこまで高まるかにかかっていると考えられる。

景観形成のためのルールづくりについて、このような検討を進めています

眺望景観のルールについての検討例

○天橋立への眺望をより良いものとするための屋根色彩の統一



(ビューランドからの合成写真)

○眺望景観に大きな影響を及ぼす大規模建築物等の色彩検討

視点場や天橋立からの眺め

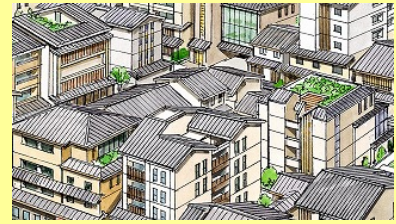


建物は、天橋立や周囲の山並みを借景としている

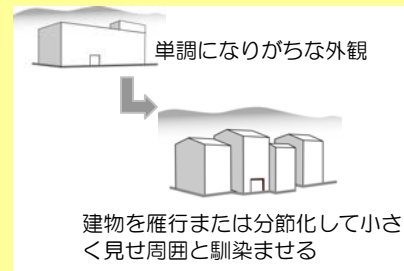


天橋立や背後の山並みと建物の調和に配慮した外壁等の色彩検討

○大きな建物にも勾配屋根や庇等の設置に努め、周囲の景観との調和を図る



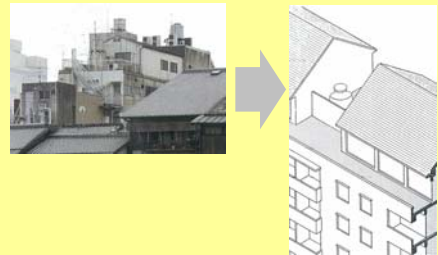
○周辺からの良好な眺めを確保するための建物デザインの配慮



○建物の屋根形態や屋根材等に統一感を持たせた整った町並みの形成

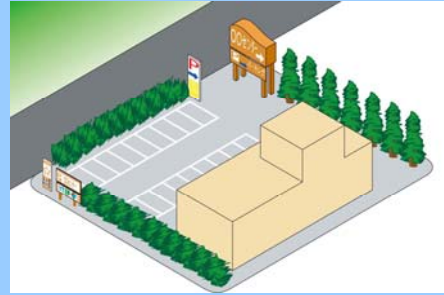
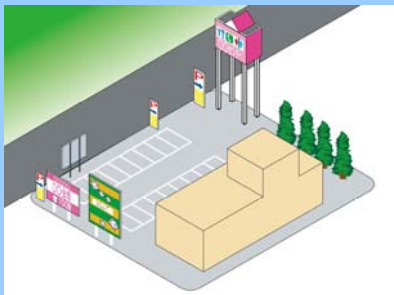


○周辺からの良好な眺めを確保するための建物屋上設備等に対する配慮



屋外広告物についての検討例

○幹線道路沿いの敷地内に設けられた広告物類のデザインの改善や整理統合による良好な通り景観の創出



お知らせ

次回（第8回）検討会

【日時】平成19年6月29日（金曜日） 午後1時30分～4時（予定）

【場所】与謝野町生涯学習センター知遊館 2階研修室

「まちの色を見つけよう！」ワークショップを開催します

みなさまと一緒にタウンウォッチングをし、天橋立や周辺地域に合う建物等の色探しをしていきます

【日 時】平成19年7月4日（水曜日） 午後1時～4時30分（予定）

【集合場所】宮津市市民体育館

いずれも参加自由ですので、是非ご参加いただき、今後の天橋立周辺地域の景観まちづくりを考えましょう。

編集・発行

【事務局】

■京都府 土木建築部 都市計画課 電話：075-414-5327（直）

■京都府 丹後土木事務所 企画調整室 電話：0772-22-2143（直）